

アイヌ政策の概要（平成26年度政府案）について

平成25年12月24日
内閣官房アイヌ総合政策室

（注1） [] の数字は、対前年度比を表す。

（注2） 予算額を特定できない施策は、施策名のみ記載。

1. 「民族共生の象徴となる空間」の具体化 84百万円 [2.43]

○博物館の整備・運営に関する調査 47百万円 [1.95]
【文部科学省】

・博物館の整備・運営に関する基本計画の策定 32百万円 [1.33]
【文部科学省】

・博物館等におけるアイヌ資料等収蔵状況調査 15百万円 [新規]
【文部科学省】

○体験交流等活動に関する調査 24百万円 [新規]
【国土交通省】

・アイヌの伝統等に係る体験交流等活動に関する基本計画の策定

○文化施設周辺の公園的な土地利用に関する調査 12百万円 [1.20]
【国土交通省】

・文化施設周辺の公園的な土地利用に関する基本構想の策定

2. アイヌ文化の振興、普及啓発 330百万円 [0.98]

○アイヌ文化財団への補助 321百万円 [0.98]
【国土交通省・文部科学省】
〔うち国土交通省 114百万円、文部科学省 207百万円〕

アイヌ文化振興法に基づき、アイヌ文化の振興及びアイヌの伝統等に関する普及啓発を図るため、指定法人であるアイヌ文化財団に対して補助金を交付。
主な拡充事項は次のとおり。

・アイヌ語初級講座 5百万円 [1.20]
【文部科学省】

従前からアイヌ語の入門編として、「親と子のアイヌ語学習」事業を展開しているが、さらなるアイヌ語伝承者の掘り起こしとすそ野の拡大を目的に、アイヌ語を学習、習得及び継承しようとする意欲のある未経験者を対象としたアイヌ語入門講座を実施し、中級話者及び上級話者の育成につなげる。

○危機的な状況にある言語・方言の活性化・調査研究 9百万円 [1.06]
【文部科学省】

・アイヌ語の保存・継承に必要なアーカイブ化に関する調査研究

ユネスコが指摘した危機的な状況にある言語等のうち、最も消滅の危機に瀕しているとされているアイヌ語の音声データを整理・分析し、アーカイブ化に関する調査研究を引き続き実施するとともに、新たに今後のアーカイブ化に向けた報告・説明会を開催する。

3. 北海道アイヌ生活向上

505百万円 [0.91]

アイヌの人々の社会的・経済的な地位の向上を図るため、北海道が実施するアイヌ生活向上関連施策の推進を支援。

- 修学の支援（高校生、大学生等に対する奨学金等） 112百万円 [0.85]
【文部科学省】
- 雇用・生活の安定（職業相談等の就職支援、生活館の運営等） 145百万円 [0.90]
【厚生労働省】
- 農林漁業の振興（経営近代化施設の整備等に対する補助） 240百万円 [0.95]
【農林水産省】
- 中小企業の産業振興（民工芸品展示会、研修会開催等に対する補助） 7百万円 [0.98]
【経済産業省】
- 生活環境の改善（住宅新築資金等の貸付事業に対する支援） 【国土交通省】

4. その他

31百万円 [1.02]

- アイヌの人々の人権擁護の観点からの啓発 4百万円 [0.93]
【法務省】
 - ・アイヌの人々に対する偏見や差別をなくすため、インターネットのバナー広告を活用し、アイヌの人々に対する国民理解を促進。
- アイヌ政策推進会議の開催等に係る経費 27百万円 [1.04]
【内閣官房】
 - ・アイヌ政策推進会議の開催等により、総合的・効果的なアイヌ政策を推進。
- 北海道大学におけるアイヌ・先住民との文化的共生に関する総合的研究 【文部科学省】
 - ・北海道大学において、アイヌ・先住民に関する総合的・学際的研究を実施（平成24～27年度の4か年計画）。
- 標識等におけるアイヌ語地名や地名由来の表記促進 【国土交通省、環境省】
 - ・河川名標識や国立公園内の標識等において、アイヌ語地名や地名由来の表記を促進。

平成26年度アイヌ政策関係予算額合計

949百万円 [0.99]

(注) 上記の施策のうち、予算額を特定できない施策の予算額は含んでいない。
四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。